

## 参考資料

### 1. 本資料における調査体制・調査方法の概要

#### 【調査体制】

本資料は、国土交通省が行った「バリアフリーな街づくりに資する交通施設整備計画に関する調査」の成果をとりまとめたものである。調査は、委員会方式により実施した。

#### バリアフリーな街づくりに資する交通施設整備計画に関する調査委員会

##### 《有識者》

太田勝敏 東京大学教授(委員長)、秋山哲男 東京都立大学教授、高橋儀平 東洋大学助教授

##### 《関係団体》

川尻禮郎 財団法人全国老人クラブ連合会参与、兒玉明(前任：松尾榮) 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長、妻屋明 全国脊髄損傷者連合会会長、笹川吉彦 社会福祉法人日本盲人会連合会会長、安藤豊喜 財団法人全日本聾唖連盟理事長、今西正義 障害者インターナショナル日本会議常任委員、阿部司 東京ハンディキャブ連絡会代表、(故)高山巖 財団法人全国福祉輸送サービス協会調査役

##### 《関係省庁》

警察庁(交通局)、厚生労働省(老健局、社会・援護局)、経済産業省(商務情報政策局)、国土交通省(総合政策局、都市・地域整備局、道路局、自動車交通局、政策統括官付)

#### 【調査方法】

##### 文献調査

##### 地方自治体アンケート調査

調査対象：47都道府県、バリアフリー型の交通施設整備と街づくりに積極的に取り組んでいる154市町村(都道府県アンケート調査の結果等に基づき抽出)

調査項目：バリアフリー化への取り組み体制と促進施策、バリアフリー型交通施設整備事例、高齢者・障害者等の移動手段確保事例、交通施設整備と移動手段確保の連携 等

##### 先進事例調査

文献調査(国内事例・海外事例)、ヒアリング・現地視察調査(国内事例)

##### ケーススタディ

東京都新宿駅周辺(大都市都心部)、東京都多摩市(大都市郊外)、静岡県静岡市(地方中枢・中核都市)、山形県酒田市(地方中心都市)における現状・課題等の検討

##### 住民アンケート・グループインタビュー調査

#### 1) アンケート調査

調査対象：多摩市、静岡市、酒田市の高齢者・身障者等(本文参照)

調査内容：「参考資料2. 住民アンケート調査票」参照

#### 2) グループインタビュー調査

調査対象：東京都新宿区および多摩市在住の高齢者・身障者

調査内容：新宿駅周辺におけるバリアフリー化について(内容は1)に準じる)

【ご回答にあたってのお願い】

質問は全部で8ページありますので、最後までご記入ください。

ご多用中、誠に恐縮ですがご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、

平成13年3月2日(金)までに ご投函ください。

本アンケート調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

(株)三和総合研究所 研究開発第1部

担当：うおざき・関・榊原・原田

TEL:03-3572-9024/ FAX:03-5568-4676

あなたの日ごろの外出についておうかがいします。

問1 自家用車の利用等についてにお聞きします。

あなたのご家庭では自家用車を所有していらっしゃいますか。

1 ある(台数 \_\_\_\_\_ 台) 2 ない

あなたは自動車の運転免許証をお持ちですか。

- 1 持っている  
2 今は持っていないが、以前持っていた( \_\_\_\_\_ 歳まで所有)  
3 持っていない 問2へ進む

自分で自動車を運転して外出されますか。あてはまる番号を1つ選び 印をつけてください。

- 1 自分で運転して外出する  
2 自分で運転することは少ない、あるいは全くない

問2 最寄りのバス停や駅についてお聞きします。

最寄りのバス停までの所要時間は徒歩でどのくらいですか。

約 \_\_\_\_\_ 分

自宅から最寄り駅までの所要時間はどのくらいですか。

最寄り駅までの所要時間

|   |
|---|
| 分 |
|---|

|      |              |
|------|--------------|
| その内訳 | 徒歩：約 _____ 分 |
|      | バス：約 _____ 分 |

問3 あなたの日ごろの外出行動についてお聞きします。

外出先として、『1番よく行く場所・目的』、『2番目によく行く場所・目的』それぞれ1つずつご記入ください。ここでの外出は、特定の目的地のあるものを指し、散歩やジョギングなどは除きます。

|                            |                                      |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 1<br>番<br>行<br>よ<br>く<br>く | よ<br>2<br>番<br>目<br>に<br>よ<br>く<br>に |
|----------------------------|--------------------------------------|

|            |               |
|------------|---------------|
| 1 通勤       | 2 食品など日常品の買い物 |
| 3 非日常品の買い物 | 4 通院          |
| 5 趣味・娯楽    | 6 友人・知人・親戚宅訪問 |
| 7 銀行・郵便局   | 8 その他( )      |



|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

問4 その外出は、およそ何回くらいですか。

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日   | 2 週に5～6回 | 3 週に3～4回 |
| 4 週に1～2回 | 5 月に数回程度 | 6 月に1回程度 |



|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

問5 その外出先は市内ですか、市外ですか。

|         |            |       |
|---------|------------|-------|
| 1 市の中心部 | 2 中心部以外の市内 | 3 市以外 |
|---------|------------|-------|



|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

問6 その外出に主として利用する交通手段は何ですか。

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 徒歩のみ(車いすを含む)     | 2 自転車         |
| 3 電動三輪車            | 4 自動二輪車       |
| 5 路線バス             | 6 電車          |
| 7 自家用車(自分が運転)      | 8 自家用車(家族が運転) |
| 9 自家用車(自分・家族以外が運転) |               |
| 10 タクシー・ハイヤー       | 11 病院や施設等の送迎車 |
| 12 移送サービス          | 13 その他( )     |

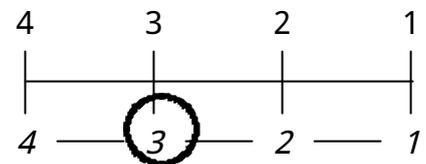
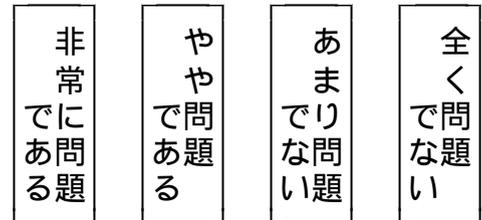


|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

**あなたが外出する場合の交通手段等の問題についておうかがいします。**

問7 次の a ~ l それぞれについて、あなたが外出する場合、どの程度問題であるかを回答例にならって、1 ~ 4 から1つずつ選び番号に 印をつけてください。

ここで『4非常に問題である』とは外出を断念したり、介助を必要とするような場合、『3やや問題である』とはその他の問題があることとしてお答えください。



<記入例> a 駅やバス停までの行きやすさ

**【電車やバス・駅】**

- |                          |   |   |   |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| a 駅やバス停までの行きやすさ          | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| b 電車やバスの路線網・運行本数         | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| c 駅やバスターミナルでの移動しやすさ      | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| d 電車やバスの乗り降りしやすさ         | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| e 駅でのトイレや休憩施設等の設置状況      | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| f 切符の買い方や乗換など案内情報のわかりやすさ | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| g 電車やバスの運賃               | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| h 運転手・駅職員等の態度や手助け・気遣い    | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

**【タクシー】**

- |                      |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| i タクシー車両の乗り降りしやすさ    | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| j 利用しやすい運賃設定         | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| k タクシー運転手の態度や手助け・気遣い | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

**【市民理解】**

- |                          |   |   |   |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| l 困っている人に対する周囲の人の手助け・気遣い | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|

問8 あなたが外出する場合の交通手段や移動経路における問題点がございましたら具体的にご記入ください。

**新しい交通サービスについておうかがいします。**

問9 「市内を循環する高齢者・身障者にも利用しやすいバス」(以下「市内循環バス」とします)があなたの住む市に導入された場合についてお聞きします。



「市内循環バス」は、以下のどちらの路線に導入されるのが望ましいと思われますか。(あてはまる番号1つに 印)

- 1 市内の商店街や主要施設(駅・病院など)を循環するバス
  - 2 バスの不便な地区と商店街、主要施設(駅・病院など)を循環するバス

でご回答いただいた「市内循環バス」の乗車料金として、支払ってもよい金額の限度はいくらですか。(あてはまる番号1つに 印)

- 1 1回当たり100円まで
  - 2 1回当たり200円まで
  - 3 1回当たり300円まで
  - 4 その他(具体的に )

でご回答いただいた金額で「市内循環バス」が導入された場合、あなたはこのバスを利用したいとお考えになりますか。(あてはまる番号1つに 印)

- 1 利用したい
  - 2 利用したくない
  - 3 わからない

問10 出発地（自宅）から目的地（例えば、病院）まで乗せてもらえるタクシー型交通サービスについてお聞きします。



あなたが、タクシー型交通サービスを利用するとしたら、どのような条件が必要だとお考えになりますか。

各々について、『必要である』『必要でない』のどちらか一方に 印をつけてください。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| a 車いすのままで乗れる車両の導入   | (必要である・必要でない)   |
| b 車両の乗り降りの介助サービスの実施 | (必要である・必要でない)   |
| c 料金が安いこと、または料金の補助  | (必要である・必要でない)   |
| d 予約なしでいつでも利用できること  | (必要である・必要でない)   |
| e その他（具体的に          | ) (必要である・必要でない) |

のような車両が導入されたり、サービスが実施された場合、タクシー型交通サービスの乗車料金として支払ってもよい金額の限度はいくらですか。（あてはまる番号1つに 印）

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1 バスとタクシーの間                 |   |
| 2 一般のタクシーと同程度               |   |
| 3 一般のタクシーに介助サービス等の料金を上乗せした額 |   |
| 4 その他(具体的に                  | ) |

のような車両が導入されたり、サービスが実施され、 でご回答いただいた乗車料金が実現した場合、あなたはこのタクシー型交通サービスを利用したいとお考えになりますか。（あてはまる番号1つに 印）

- |         |           |         |
|---------|-----------|---------|
| 1 利用したい | 2 利用したくない | 3 わからない |
|---------|-----------|---------|

タクシー型交通サービスのサービス効率化のために、複数の利用者が相乗りすることについてどのようにお考えになりますか。（あてはまる番号1つに 印）

- |           |             |         |
|-----------|-------------|---------|
| 1 相乗りでもよい | 2 相乗りはしたくない | 3 わからない |
|-----------|-------------|---------|

問 1 1 商店街やショッピングセンターにおける移動手段として「電動三輪車の貸し出し」が無料で行われるようになった場合についてお聞きします。



「電動三輪車の無料貸し出し」はどこに導入されると最も便利だとお考えになりますか。

(あてはまる番号1つに 印)

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 駅構内                 | 2 商店街  |
| 3 大型商業施設(ショッピングセンター等) | 4 総合病院 |
| 5 その他(具体的に            | )      |

「電動三輪車」が の場所に導入された場合、あなたは、これらを利用してみたいですか。(あてはまる番号1つに 印)

- |         |           |         |
|---------|-----------|---------|
| 1 利用したい | 2 利用したくない | 3 わからない |
|---------|-----------|---------|

### 新しい交通施策についておうかがいします。

問 1 2 行政がバリアフリー化を推進するにあたって、あなたご自身にとってどれが重要だとお考えになりますか。『1番重要』、『2番目に重要』、『3番目に重要』各々について【選択肢】より1つずつ選び番号をご記入ください。

『1番重要』

『2番目に重要』

『3番目に重要』

【選択肢】

- 1 駅や車両・道路等の物理的な障害の解消
- 2 電車・バスの路線や運行本数の増加等交通サービスの充実
- 3 交通機関利用に対する乗車料金の補助
- 4 ボランティア等人的支援や一般市民の理解
- 5 高齢者・身障者等の雇用機会や余暇活動への参加機会の拡大

問 1 3 駅や車両・道路等の物理的な障害の解消が実現し、様々な交通サービスが充実した場合についてお聞きします。

あなたは外出回数を今より増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに 印)

- 1 今より増やしたい      2 増えるとは思わない      3 わからない

外出の仕方を変えたいと思いますか。外出の仕方とは、外出時間を自由に設定したり、一人で外出することなどを指します。(あてはまる番号1つに 印)

- 1 変えたい      2 変わるとは思わない      3 わからない

付問：「1 変えたい」とご回答いただいた方にお聞きします。何を变えたいですか。  
(あてはまる番号すべてに 印)

- 1 好きな時間に外出したい      2 目的地まで1人でいきたい  
3 行き先や行く場所を増やしたい      4 その他(具体的に )

問 1 4 今後、高齢者や身障者等すべての人が自由に移動できる街にしていくために、あなたはどのようなことが必要とお考えになりますか。また、行政あるいは電車やバス、タクシーなどの事業者にどのようなことを望みますか。以下にご自由にご記入ください。

**最後にあなたご自身のことについておうかがいします。**

F 1 あなたの現在のお身体の状態はいかがですか。

歩行や階段の昇り降り (あてはまる番号1つに 印)

- 1 歩行・階段とも特に支障はない      2 歩行に支障ないが階段の昇降はきつい  
3 車いすを使用      4 一人での歩行は困難(介助者が必要)

聴覚（あてはまる番号1つに 印）

- 1 健常である
- 2 聞き取りにくい、よく聞こえない時がある
- 3 ほとんど聞こえない

視覚（あてはまる番号1つに 印）

- 1 健常である
- 2 弱視である
- 3 ほとんど見えない（一人で外出できる）
- 4 ほとんど見えない（外出には介助が必要）

F 2 最後にあなたご自身とお住まいについてお聞きします。

|                                 |   |                                       |     |     |
|---------------------------------|---|---------------------------------------|-----|-----|
| 年齢                              | 満（ ）歳   | 性別                                    | 1 男 | 2 女 |
| お住まいの<br>地区名                    | （各都市別に地区名を選択）   |                                       |     |     |
| 職業                              | 1 有職（常勤）<br>3 パート・アルバイト<br>5 特に仕事をしていない<br>6 その他（具体的に | 2 自営業・家業<br>4 専業主婦・主夫                 | ）   |     |
| 参加団体・<br>サークル等                  | 1 カルチャースクール<br>3 ボランティア活動<br>5 その他（具体的に<br>6 特にな      | 2 趣味のサークル・クラブ<br>4 老人クラブ・婦人会・青年団等地域組織 | ）   |     |
| 家族数                             | 家族数（あなたご自身をいれて） _____ 人                               |                                       |     |     |
| 同居家族<br>（あてはま<br>るものすべ<br>てに 印） | 1 単身<br>3 子ども（息子・娘）・その配偶者<br>5 兄弟・姉妹<br>7 その他（具体的に    | 2 配偶者（夫・妻）<br>4 親（舅・姑含む）<br>6 孫・曾孫    | ）   |     |

これでアンケートは終わりです。ご協力いただき誠にありがとうございました。

### 3. 参考文献一覧

#### 【地域交通全般】

- ・国土庁計画・調整局総合交通課「地域交通ガイダンスVol.5～中山間地域における小都市と周辺地域を結ぶ交通施策」2000年
- ・国土庁計画・調整局総合交通課「地域交通ガイダンスVol.6～交通分野における新たな課題」2000年
- ・秋山哲男・中村文彦編「バスはよみがえる」2000年
- ・鈴木文彦「路線バスの現在・未来」2000年
- ・山崎一真編著「社会実験 市民共働のまちづくり手法」1999年
- ・阪急伊丹駅アメニティターミナル整備検討委員会・交通エコロジー・モビリティ財団「阪急伊丹駅アメニティターミナル整備検討報告書（概要版）」1998年
- ・武蔵野市長土屋正忠・武蔵野市建設部交通対策課「"ムーバス"快走す」1996年

#### 【交通のバリアフリー化】

- ・日経事業出版社「日経バリアフリーガイドブック2001年版」2001年
- ・秋山哲男ほか「住民参加のみちづくり」2001年
- ・土木学会高齢者交通小委員会ほか「ユニバーサル交通とスペシャルトランスポートセミナー」2000年
- ・タウンモビリティ推進会「タウンモビリティと賑わいまちづくり」1999年
- ・東京大学鎌田研究室他「高齢者のための電気自動車導入可能性に関する調査研究」1999年
- ・運輸省自動車交通局「スペシャルトランスポートサービスに関する調査研究報告書」1998年～99年
- ・地域科学研究会「移動制約者の交通環境整備」1997年
- ・運輸省「高齢者・障害者等のためのモデル交通計画策定調査」1996年
- ・秋山哲男「高齢者の住まいと交通」1993年

#### 【バリアフリー化に関するガイドライン】

- ・交通エコロジー・モビリティ財団「交通バリアフリー介助マニュアル～円滑な移動のための接遇・介助」2001年3月
- ・交通エコロジー・モビリティ財団「バリアフリー度評価基準作成のための調査研究事業報告書」2000年
- ・運輸省・建設省・警察庁・自治省「安心して移動できる社会を目指して～交通バリアフリー法の解説」2000年
- ・運輸省運輸政策局消費者行政課監修「バリアフリーと交通～運輸省高齢者・障害者関連施策ハンドブック」1997年
- ・財団法人運輸経済研究センター「公共交通ターミナルにおける高齢者・障害者等のための施設整備ガイドライン」1994年
- ・名古屋市「福祉都市環境整備指針～人にやさしいまち名古屋をめざして」1991年
- ・運輸省運輸政策局監修「心身障害者・高齢者のための公共交通機関の車両構造に関するモデルデザイン」1990年

#### 【諸外国のバリアフリー化に向けた取り組み】

- ・国土開発技術研究センター「イギリスのタウンモビリティ（ショップモビリティ）」2000年
- ・スペシャルトランスポートサービスセミナー実行委員会「英国における障害者・高齢者を対象としたスペシャルトランスポートサービスセミナー」2000年
- ・「モビリティ・フォー・オール～世界各地のアクセシブルな交通機関」
- ・交通エコロジー・モビリティ財団「欧米主要国における高齢者・障害者の移動支援システムに関する総合調査」1998年～2000年
- ・東京都立大学大学院他「英国・オーストラリアの障害者・高齢者の交通システム調査報告書」1999年
- ・（財）運輸経済研究センター「欧米福祉交通調査団報告書」1995年～1999年
- ・中村文彦「交通工学『持続可能な都市開発と交通-クリチバ市の事例』」1995年